

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

| | |
|---------------------|--|
| 課題名 | 実臨床におけるチルゼパチドの有効性および治療継続性に対する腎機能の影響 |
| 受付番号 | 1428 |
| 当院の研究責任者 | 山田早（薬剤部） |
| 研究者等（所属） | 大島聡子、土屋裕伴、新井亘（薬剤部） |
| 研究期間 | 2026年7月1日～2026年9月4日 |
| 調査データ対象期間 | 2023年5月20日～2026年3月31日 |
| 本研究の目的 | 第Ⅲ相臨床試験(SURPASS-4)において、チルゼパチドはインスリングルゲンと比較し eGFR 低下速度を抑制し、尿中アルブミン排泄の改善を示したことから、腎保護作用の可能性が示唆されている。一方で、悪心、嘔吐、下痢、食欲低下などの消化器症状が認められ、実臨床では投与継続困難となる症例も経験される。特に腎機能が低下した患者では、消化器症状に伴う脱水や腎機能悪化が懸念されるものの、腎機能低下した患者におけるチルゼパチドの有効性、安全性および治療継続性について実臨床で比較検討した報告は限られている。 そこで本研究では、チルゼパチド開始患者を対象として、腎機能別に血糖改善効果、治療継続性および腎機能推移について後方視的に検討する。 |
| 対象となる患者さん | 調査データ対象期間にチルゼパチドが開始された患者さん |
| 利用する試料・情報 | 性別、既往歴、投与量、糖尿病の前治療薬、併用薬の有無（糖尿病治療薬、利尿薬、降圧薬、NSAIDs、抗凝固薬 等）、年齢、身長、体重、糖尿病罹病期間、併用薬数、クレアチニンクリアランス、eGFR、AST、ALT、血糖値、HbA1c 値、副作用の有無、入院の有無、チルゼパチドの中止、減量の有無とその理由など |
| 試料・情報の他の研究機関への提供の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ） |
| 個人情報の保護に関する情報 | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんの特定につながる個人情報は削除します。研究成果は学会や学術誌等で発表する可能性があります。その際は患者さんを特定できない形で行います。 |
| 本研究の資金源（利益相反） | <input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ） |
| 倫理審査等の経過 | 第 295 回上尾中央総合病院倫理委員会にて承認 |
| 公開日 | 2026年5月29日 |
| オプトアウト期間 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開日から1か月 |

| | |
|-------|--|
| | <input type="checkbox"/> 当該疾患についての当院受診開始日から1か月 |
| お問合せ先 | 電話番号 048-773-1111 (代表) 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科 |